

取組の柱《3》外部人材の積極的活用 3Sとの連携活動

和田島小学校では、徳島県教育委員会と連携し、「3Sモデル事業」に取り組んでいる。

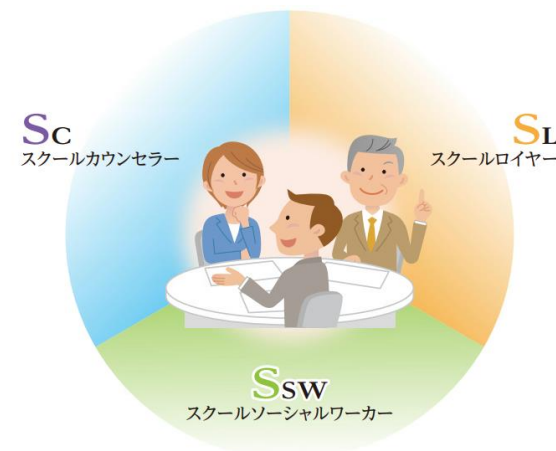
3Sモデル事業とは・・・

児童生徒の抱えている問題や置かれている環境が複雑化・多様化し、学校だけでは解決が困難な事例が増加している現状を受け、学校と3S（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー）が連携・協働し、チーム学校として諸課題に取り組むことができる生徒指導体制の構築を目的としている。

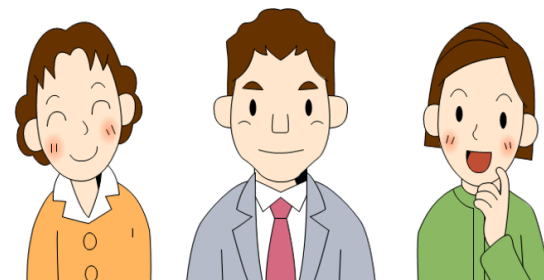
ここがPoint!

多様な背景をもつ事例に対しては、学校や専門家が個々に対応するだけでなく、それぞれの専門的な知識や技能を生かし協働することで、より一層支援の充実を図ることができる。

学校の教職員や専門家（3S）に、3Sの職務内容や効果的な連携方法に関する理解を深めることで、チーム学校の更なる機能強化につながる。



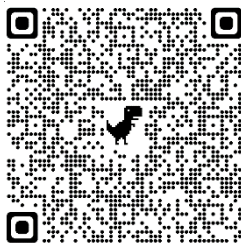
複雑化・多様化した課題解決に向けた、専門家への期待は大きい。



子どもたちが安心して学べる教育環境の実現に向けて!

3S連携活動事例集

～学校支援の充実に向けた専門家（3S）との連携強化～



事例集はこちらから

← ダウンロード

スクールカウンセラーの職務内容

- 児童生徒へのカウンセリング
- 保護者へのカウンセリングと助言
- 教職員へのコンサルテーション・ケース会議等への参加
- 児童生徒への心の授業やストレスチェック等の予防的対応、保護者や教職員への研修・講演の実施
- 事件・事故・災害等の緊急時における児童生徒の心のケア



心に寄り添いながら、「明るい未来をもてるようなカウンセリング」を心がけているようだ。

スクールソーシャルワーカーの職務内容

- 課題を抱える児童生徒が置かれた環境と児童生徒への働きかけ
 - ・児童生徒との面接や家庭訪問等の相談支援活動
 - ・児童生徒への相談活動等に関する情報収集・提供
- 関係機関とネットワークの構築・連携・調整
- 学校内におけるチーム体制の構築・支援
- 保護者、教職員に対する支援・相談・情報提供
- 教職員等に対する研修活動



「先生や保護者が一人で抱え込むのは大変。」子どもの成長には、適切な支援を頼ることも大切だそうだ。

スクールロイヤーの職務内容

- 法的側面からのいじめ予防授業
 - ・いじめ予防に関する授業
 - ・集会等でのいじめ防止に向けた講話
- 法令に基づく対応の徹底
 - ・教職員に対する校内研修等での講義・講演
 - ・いじめ問題等の事例研究における指導助言
- 学校における法的相談への対応
 - ・いじめ等の事案への早期対応
 - ・早期解決を図るため、法的観点から学校等への助言



授業では、子どもたちから「裁判官や弁護士の仕事」「裁判の時に気をつけていること」などの質問があり、丁寧に答えていた。

支援体制についての情報交換会の様子



一人だと気づかないことも、様々な角度から意見をいただける。3S制度のおかげで、**心理的な不安が軽減され、とてもありがたい。**
 (相談をした教員より)

